明治三十年九月十八日印刷
明治三十年九月二十日發行

婦人衛生雜誌

第九拾四號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雜誌
第九拾四號
目次

講演

◉日本婦人に望む數要件　ドクトル　新井古芳君
◉食物調理法　醫學博士　長井長義君
◉赤痢豫防養生法　醫學士　竹中成憲君

衛生叢談

◉疾病の内因
◉咽頭の棘に就て
◉葡萄腫
◉赤痢病の猖獗
◉赤痢病の徵候及豫防
◉新潟支會記事
◉廣告數件

大日本婦人衛生雜誌
第九拾參號
目次

講演

◉疱瘡及痲疹に就て　宮本仲君　演說
◉食物調理法　理學博士　長井長義君

衛生叢談

◉水蛭のこと
◉肉類の新陳良否を鑑別する法
◉疾病の原因
◉植物性食物
◉川上雅量氏の避暑勉學
◉廣告數件

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第九拾四號
（明治三十年九月二十日發行）

講演

◎日本婦人に望む數要件

ドクトル　新井古芳君演説

私は新井古芳と申まして玆にはまだ演題は揭げてありませんが名は其たいを顯すとか申しまする通り體は大きう御座る升が心はほんの小坊で到底うまい事は申上られません只皆様の御意に叶へて暫時御耳の拜借を願ふ斗りでありますそこで私は（日本婦人に望數要件と云ふ）演題を揭げました。

其一　産院を設くる事

私の宿志は最早我が日本に慈善的産院と云ものを設け歐洲の組織を寫し廣く全國に擴布を以て同胞姉妹の不幸を救ひ升するのは實に目下の急務であろうと考へ升幸ひ今日此處に御集りの滿場諸姉は日本婦人の先導者の總代者とも云べき貴婦人方且ッ慈善者あれば國家の爲め私は謹て御相談致して置きとうでございます。實に此十九世紀に於て我日本は一大進歩をなし東洋の强國となり、益々膨脹性を備へて愈々歐洲各國よりも强くなる樣な勢になッて洵に御互に芽出度いことであります併しながら邦國が膨脹するやうな盛運に進めば從て其國人たるものは一つの覺悟が必要であり升、此覺悟が無ければ膨脹性日本の美名を永く維持することは出來ませぬソレが爲めに其筋に於ても夜を晝に繼いで銃砲を鑄造し彈丸を製造して寸暇はなく是れまでに費消したる處の軍器を補充して猶新に

増製し居るとの事でございます。軍艦もその如く歐米各國にまでもそれ〴〵注文して、是れまで消費したる處の軍艦に猶新艦を増製し孜々として怠たらむのでござい升。これ等は誠に目下の急務にして私共の大に贊成して止まざる處であり升併ながら是れよりも更に大に必要あることが御座り升それは外でもありません日本人と云ふものを多く製造することであります此事は未だ世の中がた程注意をしないやうに思ひます。ソレ故に私は此日本人を製造する方法をこれより申上ます。

近年日本は不幸にして皆様も御承知の通り、海嘯、地震、虎列刺、黒死病等の災禍が御座いまして、廿七八年に戰死した忠魂の外にさう云ふ不幸を遂けて身命を落した同胞が實に多い。加ふるに昨年の冬時分から天然痘が流行し痘瘡神と迄云はれた人が遂につかれて黄泉の客となりしものも多く、實に不幸にも此大和魂を持ッて居るものが少なくなる、それ故に其豫備製造が最も必要で、先づ是れは第一に國會議場に緊急動議として提出して宜いと思ひます。併ながらなんでも國會に持ち出すと云ふ譯にも往かない其道に由ッて仕なければ到底出來ない事故、つまり是れは其道に奔走せる醫師及衛生家が務めて盡力しなければならないと思ひまするで訥辨ながら貴意を伺ふのであります。

膨脹性日本には何が最も必要あるかと云ふに愛國心に富める日本人である。若しも日本人が少なくなれば膨脹ところか縮小性の日本にならなければならない。内の物が澤山あれば自ら膨脹し、少なければ縮少するものは爭ふべからざる事で、幾ら日本に地面が殖えても中に住む日本人を澤山拵へ

て置かなければ土地を維持することが出來ませぬ。今日と雖も北海道にも未拓地が有り、又台灣にも内地人が澤山居らないと云ふ樣な有樣で人が少なければ現在の土地すら充たすことが難い故に私は富國强兵は其國民の多少に關することだと思ます、然らば社會に必要あるものとして第一に指を屈するのは婦人各位で有る婦人各位の務めの上で第一番に指を屈するのは子育、其中で最必要として第一番に指を屈するのは産褥で有ります。此産褥と云ふことは隨分六ケ敷い事で、御承知の通り手の裏を返す咄嗟の間に、母子共にその命を喪うことが往々御ざいます而して産褥即ち産の時に於て産婆が居らむ産科醫が居らぬと云ふ樣なことが澤山有る。假令ば是れまで四回は産前産後とも至極母子共に壯健であッたが五回目に妊娠して分娩

と云ときには是れまでの經驗が善かつたから態々産婆或は産醫を呼んで置かんでも宜いと云ふて胸にあてた手の裏を未だかへさぬ中に母子共亡くして大に後で悔ゆるやうなことが世間には隨分あります、縱ひ産婆は招くとしたところで産の度毎に産科醫を招いて置くと云ふことは余程難いことで有るから産科醫を招いて置かむ産科醫が居らぬから其場合に望んで手術を施すことが出來ずして終に後悔をすることは私共度々耳にもし、亦其場合に臨むことも往々御座います、是迄は産をするときの注意でありましたが、次には産褥即ち産をした後で非常に危險の病を起すことが有ります、と云ふものは素人の中で到底充分ある消毒法を行ふことが出來ませぬからです産後子宮内には、新創面即ち新たの傷になつて居る、場所が多

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

く出來まする而して稍もすれば其所から猛烈なる毒が這入て六ケ敷熱病となり升又言葉をかへて申したなれば産後子宮は毒が這入り易くなッて居る處の部分を多く持て居るにも拘らず普通の人はお産襤褸といつて五年も六年も經たる極く穢ない處の襤褸を以て其部分に當てゝ置く實に是れは家人か門戸を開いて强盗の來襲を待つて居ると云ましやうか又只今坪井博士の御話にあつた睡眠術をば門番に行つて盗賊の來るのを待つて居るのと同じやうな譯であつて、其爲めに恐るべき褥熱と云惡もの丶子宮内に押入而して重き病氣を起すとが多い斯の如く危險なるふるき襤褸を用ゆるものが、地方のみならず東京にも隨分裏店社會には澤山ある樣に見受けます誠に危險の事である。斯ぅ云ふ危險の事を避けるには此産院を設けるのが一番宜い、ソコには始終專門の醫師が附いて居ッて産氣になると奇麗に消毒した室内に産婦を居らしめて、最も安全に産をさせる事が出來る、又産後の病氣に就てもサウ云ふ産院が出來れば誠に安心で御座ります。又獨逸澳國及英、佛、瑞西等に至り殊に私は産院に注意を致して來ましたが實にその産院は日に〳〵盛大に赴きます、惟ふに世の進化するに從ッて此産院と云ふものは必要になることかと存じますなんとなれば、世が進化する程生活の度が高くなる、高くなればなる程産院は必要になります。例之ば馭者が一日僅かの金を取ッて一家の生計を立ッて往く、然るに若し内儀さんが病氣であるとか、妊娠したとか云ふ爲めに内儀さんの傍に附いて居つて、外に出て金を取つて來ることが出來ないとすれば出入どの位ゐの損失が

有るか、二人とも只坐食して居るのみならず、産婆には高い報酬を出さなければならぬ、産婆に高い報酬を出し取るべき金を取らむで、徒らに日を過して往くと非常に損になる。それのみならず會社員等は日々三百六十五日欠かさず出勤すると、年末の報酬が澤山取れる、然るに自分の病氣の外に妻が産をした爲めに、其年二十日三十日も會社に出ないとすれば賞與金に影響を及ぼす、則ち子を生んだ爲めに賞與金が取れない、又會社に取つても此人は少しも休日無しに精勤するといへば名譽であるが、來る年も來る年も休みが多いと云ふやうでは餘り名譽でも無い。さればとて自分の妻は子を生まうと活きやうと死なうと、已れは構はむといつて不深切をすることは出來ない、ソレなら自分は留守にしても醫師等は看護婦又は産婆等を頼んで、不慮の備へをして置かれるかと云ふにサウは經濟が免さん、然らばドウしても産院に入れて置くのが利益且ッ安全では御座りませんかそれ故に彼の國にては大概妊娠したる内儀さんは臨月になると産院に入れて置き、自分は平生の如く務むべき事を務めて、歸りがけに鳥渡産院に寄ッて様子を聽いて、又明日は常の如く出勤すると云ふやうにして居ると、其中には産もやす〳〵と濟みまして二十一日も經ッと……（西洋では大概産後二十一日は務めて蓐に居ります）内儀さんはにこ〳〵として、愛らしき赤兒を抱いて無事に歸ッて來る。自分は産床の苦む狀態も見ないで、奇麗な處で産をさせて一定の時が來ると、親子とも先づ喜んで遇ふことが出來る、是れは誠に安心の事で、是れより勝る安全の事は先づ無からうと思

ふ、入院料の如きは種々御座りますが總じて安くなつてあります、中には貧民の施療も澤山ありまして又施療を致し得る方法も御座います今歐洲にて、行はれて居る施療の方法の一例を申して見ますと、専門の醫師或は地方の開業醫師等が是非産の實地を見たい、若くは經驗の爲めに來て居るさう云ふ人は相當の慈善金を出し此金を以て施療產婦の食料に宛て一方には實地の經驗をなし、一方には貧民を安全に施療すると云方法もありますし又産後月に一錢とか或は二月で一錢とかだん／＼に産院に返納させるやうにする者もあります、さうすれば其道の醫師も利益を致し、亦産をするものも利益します前の方法に依つて往けば病院其ものに損害もなく實に安全無缺のことである。で社會の人も之を安全無缺なるものと認めて居れはそ

そ、日に々々盛大に赴いて來るのであります。もう一つの利益は彼國にはアルテフロイライン即ち白髪の令孃が隨分御座ります、其老孃がある其原因は一帯國風として相當の財産が無ければ嫁に往く口が少ない、勿論どこでも宜いと云ふものなれは又別で有るが、己れは官吏なれば高等官吏、士官なれば何官以上でなければ嫁す望みはない抔と覺悟はして居たれども、さて自分にそれだけの財産が無いから往けない、されはとて詰らぬものへ配偶を求むるは殘念故生涯獨身で送らうといつて居る、其中迫がに木や石でない人間故、知らず識らず腰卷（コルセット）をはづさねばならぬと云ふ様な事が出來る、日本では父無し子と申しまして隨分あるそうですが日本では重に箱根熱海其他海山の勝地に轉地と云て身をかくさせるとかどうとかが妙法を行

ふ、それとても若し金が無いと熱海に往く事も出來ず、何處かに往ッて分娩まで匿れて居らうかといつても、或事情より人目と義理とに迫られて其身を措く處が無い、つまり河或は井戸に其身を投ずるものが新聞にも澤山見ゆるサウ云ふものを救ふの方法は如何であるかと云に他に良き方法は無い、只至急産院を設くるの一のみ産院が出來れば此最も憐れむべき醜態の者を死にいたらしめず、救ふ事が出來る。而して此産院の規則はと云に誠に嚴しくありまして、事務長を除くの外は院内の職員ですら誰れが入院して居るか少しも解らむ、室には一々番號のみにて姓名は記しませず只當人の心に任せて親には知らして置きたいとか、若くは此人だけには知らして置きたいとか云ふ處には自分の番號を書いて遣る、ソレ故此番號をいッて尋ねて來る人は、その番號の室に遇ひに來ることが出來ます若し番號を知らずして何の何兵衛の娘に遇ひたひとか、何町のお松さんは居ますかとか、昨日入院たしれ梅さんに御目に懸りたいなどいつて來ても一切遇ふことが出來ない規則になつて居るです、さう云ふ譯で、他人には誰れが入院して居るか少しも知らないのですから、先づ此産科院にさへ這入れは實に昔罪人が高野山に逃げ込んだと同じで少しも産婦は迷惑とそうして心配はかゝらぬやうになつて居升而して誠に安全に分娩することが出來る。されば一度命を捨てやうとまで覺悟した者も滿足に親子ともの長らへることが出來る、而して日本の人が一人でも殖ゑまするど則ち富國の本になる、又井戸や河に投身して果てるばかりでなく、不義の妊娠でもするやうなこと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

か萬一あると、自ら流産或は早産等の術を企で、種々危險の事を試み啻に其子のみならず終にその身までも捨つるに至る、縦ひ身は捨てぬまでも竊かに其罪の重きを念ひて、爲めに精神病を惹起すとか、或は社會の罪人とあッて永く汚辱をのこすとか、實に言ふべからざる危險の極でありましうデ又産院を建てる方法も必要であります、其方法は種々有りますが、先つ歐洲にて尤も簡便なるはロテリー性義捐金です尤も我日本では富圝と云ふのは禁じられて居ッて出來ませぬが、産院を建てる一手段としては一寸面白様に思ひますデ參考の爲めに御話をしますれば澳國の某産院は毎年一回ツヽ富圝をして立派に維持して參ります彼の國にては全体富圝は中々盛んですが中には慈善的ロテリーと申して政府より富圝を賣り十萬圓なれば其内千圓又は一万圓を慈善的に差し引き余りは圝を引て幸福者の利益とす其幸福者は一本五錢の富圝を賣て一千圓あり五千圓なりの利益かあるから十や廿萬の富圝は忽ち買り切となり升そうするとそれで知らず慈善者の親玉とも云べき産院は維持することが出來ます其他此慈善金を聚むる方法も色々ありませうが何れにしても此金は外の事業費とは異り六ケ敷事はあるまいと思います、兎に角母の胎を痛めないものは無い故、孰れも産院は必要で欠くべからざる者と認むる事で有りませう、殊に御婦人は自ら多少共經驗もあることですから喜んで御賛成にある事と信じます。勿論此席に在らるヽ方々の如きいざや産とでもいへば、醫師が四方八方から飛んで來て産科醫や産婆の居らぬ爲めに不都合を生ずると云ふやうな憂ひは御座いますま

いか、裏店社會或は地方邊陬の地に在るもの〻産の困難は實に名狀すべからざるもの故、私は東京のみならず追々地方にも分院を設けたい希望でございます。而して此産院が無事に出來れば割合に多い貧困者も安全に産をすることが出來る、割合に多い貧困者は割合に多く産をする者なれば濟世の道を全ふする來會者諸君の責任として産院を設くるに充分の御盡力を願ひたいと思ひます。これは死すべき不幸者を助けて其日本人を殖すの法であります。

豫め疾病を防ぐ事

抑も人にして一定の法律を守らずして罪人となるは恰も人にして一定の養生を守らずして病人となるか如く又止むを得ざる因果と云はなければなりません、そこで法官は世の中の人に豫め斯う云ふ罪を犯せば、斯う云ふ刑律に觸れて斯云ふ苦みをせねばならぬと云ふ事を知らして置く、又醫師も裁判官と等しきものでありまして語を替へて言ときは裁判官は罪を療する醫師で、醫師は病を療する裁判官である、それ故に矢張り醫師も斯う云ふ前兆があれば斯う云ふ病になつて、かう云ふ難澁をすると云ふ事を、豫め世の衛生家は務めて此道に奔走はして居るべけれど各專門家が猶一層尽力したあれば隨分餅屋は餅屋のうまみありて大に利益する處が必ずありますから眼科醫は豫め注意して風眼を未發に防ぎ皮膚病醫は豫め注意して梅毒の傳染を防ぐとか其道に依りて賢く豫防の方法を徐々に世人に知らしめるようにいたしたく希望して止みません故に私は今日私の專門とする女科に就きまして一二の御注意を述べて御免

を蒙らうと思ひ升先づ婦人病で注意すべきは下物、月經、疼痛、是れは婦人病の中で最も大切にすべき三ケ條であります若しも健全の者であれば第一下物などはしないのであります。下物にも或は白水の如きもの或は血液の如きもの或は膿汁の如きもの或は又鼻液の如きもの等種々のものがあるが、此下物のするのは輙ち一つの病の兆候であります。次に月經で御承知の通り普通規則として、婦人が一人前になると、姙娠するの豫備として必ず月に一回ツヽ御座り升故に月花或は月のもの其他種々の名稱がありますけれとも世の中には此月花とも云べき月のものヽ何日位經行するのが通例なるか又月に二回位ありても別に病的とは云はぬものかとんと氣にもせず一切夢中にて居るものも御座り升が正規の月經は字に書きました通り月に一回で其持續は人に由て長短が多少ありますが大概四日或は五日であります。

又月經の來たる年齢も、体質或は季候に由つて多少遲速もありますが、日本にては平均十四歳八ケ月と云計算になつて居ります尤も印度の如きは十一歳にして子を生むと云ふことですが、是れは例外でございます、之に反して寒國は概して遲いです。若も月經が月に二度あるとか、或は三ケ月位無いとか、又は月經前後に下腹がシボル樣にいたむとか或は腰のあたりに非常に痛みがあるとか云ふが如きは則ち病の徴候でございます。其他歩行すると腰が痛むとか、腰がつれるとか、腰から脚の後の方がつれるとか、或は下腹が頻りに痛むとか、寒いと胸にさし込むと云ふが如きも多くは子宮病の徴候であります、故に若しも月經不順腰部

の痛下物のある場合には、なるべく早く專門の醫師に診察を乞ふのが必要であります若しも斯の如き場合を打捨て置ときは實に取復しの出來ぬことになッて仕舞うものが澤山に在ります。又四十歳以上になッて、子供もあるし、滿足の者であるが、只ドウも腰が痛い、血の樣の下物がする樣だと云て居るものがあります、ソレを醫師が見ると癌腫で子宮癌腫といふものは不治の病で子宮をまるで切り取りて助けるより外に方法はない併しながら少しでも時機が遲れると諸方に擴がッて手術の施しやうもなく竟にこれが爲めに殪れるものが往々有ります。故に若しも是等の徴候があッたならば、早速醫師の診察を受くる事が誠に肝要です、ソコで又私の出勤して居ます、櫻井病院に來る患者の中で、十八の六人まで訴へて來る症狀は子、か無いと云ふのです、所謂石婦と云ふもので、昔は嫁して、七年子無ければ去ると云ふくらいの譯でありましたが、今日は子が無くても別段苦狀はない、子が無くっても却って威張って居る世の中、古今風が變って居るが、又よく考へて見ると實に子の無い位ゐ淋しいあはれなものは無いといつて、皆患者が極く壯健でありながら、子の無い爲めに遠方海山越へて出て來る。さう云ふもの、子宮を撿すると多くは病氣が有る、或は月經が不順であるとか、或は下物がするとか、或は子宮が曲つて居るとか、或は子宮孔が非常に狹いとか、何か故障があつて普通の子宮で無いから子が出來ないのである、又中には身体が弱くつて出來ない人もあり、或は連れ添ふ夫の病毒がある爲め出來ない場合もありませうが、まづ大約は子宮に異狀

の有るものが多數であります故に膨脹性日本に住う處の御婦人の義務としても、成るべくさう云ふものは早く治療をして、婦人の義務を果さなければ日本の富國强兵を外國に向て誇るとは、出來ません。

子宮球を製する事

此子宮球と云ふものを製する事を、私は至急にして戴きたいから、至急球と名け至急に皆樣に御願をするのでありますそれは月經或は排泄物のあるとき婦人科の診間に來る患婦を見ますると多くは淺草紙を入れて置くか、或は手巾の小片を膣內に入れて置きます夫れが爲め隨分危險のことがあります先刻も御話する通り子宮內殊に產の前後抔は醫師が內診すると雖も手指は勿論陰部其物も能く消毒して、ソレからで無ければ內診しないのであります。然るに不潔なる淺草紙をまるめて入れるとか、手巾の布片を入れるとか云ふのは實に危險でありますから、その代りに至急球といふものを最も至急に製して御用になる樣に望みます今日此球の標本を持つて參りましたから御目に懸けます。是れは普通の綿球でありますがこれを消毒器械の中に入れまして消毒しますれば些少の病毒も附て居る憂はありません其器械は私が工夫して淺草の遠州屋に話しをして置きましたが器械の構造は「ランプ」と同し樣のものにて總てブリッキで製してあります而してホヤの處に綿球を二三十個入壺の處に水を入下よりアルコールランプにて沸騰さするときは蒸氣のホヤの中を通過して多の綿球を充分消毒し消毒が終れば毒物の進入しない樣に蓋をして貯て置かるゝ仕組にて婦人科醫及產

婆諸氏にも一寸便利のものであります此方法にて子宮球を製すれば一箇一厘以下にて安全のタンボンか僅かの暇に澤山出來ます又自家にて製するか面倒なれば藥種屋にて消毒綿を取寄せ使用するも宜し兎に角私は廣く無害なる綿球を至急用ゆる樣に致したいのであります實に子宮病の數が減じせませんと其國の富强は增ませんまだ申上度きとが澤山ありますが時間が終りましたから后會を期しまして御免を蒙ります次に獨逸澳國にて自家寫撮せる產院の寫眞等數葉を示さる

◉食物調理法

理學博士　長井長義君　演說

私は今日矢張り前會の續き、食物の調理法の事を述べます、其前に私はもう一度切に皆樣に御願ひを反復します。只今宮本小此木の兩先生より素人に取りましては大へんに有益なる事を御話下されて、殊に此春の如く疱瘡の大へんに流行る時、又いま宮本君の御話の如く麻疹も流行り、百日咳も流行る事に就て、貴女方はそれ〳〵有名の御醫師樣の御演說も御聽きになりまして、なにもかも御承知でありますから豫防攝生等に手拔けは有りませぬが、一番困りますのは下等社會の人間、是れは何事に就ても衞生上の火元になる、折角貴女方が御心配になつても、いつもそれを破壞するのは下等社會の人間でございます。又此者どもに衞生の忽せにすべからざる事を訓へます道と云ふものは、洵にむづかしいので有りまして、私は始終其事を心配して居ります、それで前にも其事を願ひましたが、又此度も其事を願ひます若しもいま

兩先生の御演說になりました事を、下流の處にまでも及ぼすやうにしませぬときは、其効能は洵に僅かに止まッて仕舞ひます故、先達も申した通り奧樣方から御召使の下婢共に、種痘は必ずしなければならぬ、又麻疹も決して疎かにしてはならぬと云ふことを懇々御訓へになりますと、是等の者も後には必ず緣附きまして、一家を興すもの故、其効能の及ぶ處は、實に此上の手段は有ますまいと存じて、私は御會に出まする度每に此事を御願ひ致すので御座います。此事は、是れまでも再三願ひました事ながら今日又も反復して願ひたい感情が起ります。丁度皆樣が我々共から談話を御聽きになるやうに、あなた方から御召使にお聞かせになると、其者が緣付いて後までも、嘗つて御主人から斯く〳〵の御話があつたが、各自どもの家でも是非斯うしなければならぬ、若し爾うしないと我々ばかりでなく世の中の人々にまで難儀をかける譯であると云ふ事を思ひ出しては自ら省るやうになります、而も段々ソレが傳はり擴まつて、乃で始めて衛生の目的を達することも出來るのであります。是れは他に願ふべきことではない、ドウしても奧樣方に願ふより外無いので、奧樣が折に觸れては諄々と御說得になりますと、却つて我々共が申しますより効能が有るので御座います。只今御話に承ッた中でも殊に傳染病の如きは、每も下流の者が不攝生を致し、折角皆樣が防いで居らるゝ傳染病を下々の者が持つて參る結果になるのですから、傳染病の流行する時分には、平生皆樣も御注意をして願いたい。是れは餘計の事のやうでありまして恐れ入りましたが、願い傍々御

注意を申し述べたのでございます。
それから食物に就ては前以て申上げて置きましたが、其食物の中で主に焼きまする物煎る物日本で煮まする魚類鳥等それ等の物も取扱ひ方に因つて折角養ひになるべきものも養ひにならむやうになります。併ながら數ある食物の中で、同じ魚と云つてもいろ〳〵種類が有りますから、其料理方を一々細かく申上ぐる譯には參りませぬが、總じて申上げますつもりで御座います。
デ日本では凡そ斯う云ふ食物の料理方に變りはありませぬ、矢張り焼くとか汁のやうに煮るとか、或は油で揚げる……是れも日本では天麩羅くらいのもの、其外煮込み（勿論おつゆの中にも澄みたるものもあり、又は味噌汁のやうなものも有ります吸ふものは皆なつゆと云ふのであります。此煮方を大別すると二通り有ります。總て吸物は實よりつゆの方に養分の含むやうにするのが宜い、又煮込は、汁よりは實の中に養分を餘計に殘すやうにしなければならぬ。又照焼にするとか、只焼くとか云ふときは油を附けて焼くのが宜い。デ此魚肉或は、牛犢、羊、兎等の肉の中には養分になる處のものも色々有りませうが、主なるものは蛋白質、も一つは魚などを冬寒い時分煮て置くと凝魚になる、是れと同じやうなもの、此二つの中殊に蛋白質のやうなものは、煮方に因りて全く養ひをなさむやうになります。どうした時分に養ひにならぬのかと云ふに、余り石灰の澤山這入ッて居る水で煮ると大へんに硬くなッて、胃に這入ッてから先づ之を溶解しなければ養ひになれんやうになッて、又消化液が染み込んでも、容易に溶けるや

うにあります。又我々は始終同じやうな物を食べて居ると嫌になる故、時々はいろ〳〵の煮方が要る譯であるのです。それで肉類を消化し易いやうにするには、一番宜いのは燒くのです、又脂肪が嫌ひでなければ、はじめ油を煮て極く沸え立つた中に肉を入れまして、而して肉切片は餘り小さくない方が宜い、ソレで肉の切を油の沸ゑ立つた中に入れると、上皮が先きにかたまつて仕舞う、上皮がかたまッたら今度は火を弱くして、凡そ内部まで煮ゑたと思つたら、其上は决して煮ない方が宜しい。何故油の沸騰した中に入れるのが宜いかと云ふに、今のやうな工合にすると、表面だけかたまつて、而して上に皮が出來る、丁度紙の包みか、或は布を卷いた如く、或はブリキ罐に入れたやうで、中から汁液が出やうとしても上皮で止められて、恰も蒸燒のやうになる、ソレが大へんに宜いのです。ソレをよく煮えない中に煮ゑたかと思つて試みに箸で突きなどしますと、肉の中から大切なる部分が出て味を損するばかりでなく、消化惡くなります。英吉利邊では殊に牛肉を好んで食べます。大抵其人數に應じて一家内が三日も四日も食べられるだけの大きな塊を一度に煮る。其製方は牛の心臟を包んで居る脂肪を澤山沸して其中に肉を切らないでその儘沸した脂肪の中に入れ、時間を計ッてソレを出しますが、内部は殆ど生のやうで、漸く温か通して居るか居らぬ位に若しも切ッて見ると、血が出るやうになッて居る、是れは我々には生臭さくて食べられんけれども、食慣れまするも、味は佳いのです、斯様な事は大へんに不經濟のやうにも聲へますが、其脂肪は何

遍も用ゆることが出來ます、一旦脂肪に入れました肉は、ソレに味を附けて食べるので有ります。かくの如く肉類は中まで温が通るや通らぬ程にして置きますは却つて消化が宜い。天麩羅も先づ同じような種類である、勿論是れも元は日本で起つたものでは無いのでございませう、天麩羅は魚に經を懸けて油で揚げるので、是れも宜い樣であるか併し日本の胡麻の油は味はよいか消化か惡い、けれども今申上げた脂肪の中に入れるのは、脂肪を好まぬ者は用ひる譯に參らぬ。其次には燒きまするのです、燒くのも初めは強い火で外皮に燒けた皮をこしらへ、而してあとは溫火で靜に燒くのが宜い。それを若しも煮るのと同じやうに取扱ますと中から大切ある液が出るばかりでなく、だん／＼水分（何の肉に限らず七分通は水分ですから）が餘計に出て、かさ／＼になつて仕舞う、さうすると味の惡いばかりでなく、消化も亦宜くない。必ず初めは強い火で煮或は燒いて、あとは溫火て燒くと蒸燒が出來る譯で大へんに宜いです、又照燒などは隨分宜いです。それから煮込み、是れも先につゆを能く沸して、沸騰した處に御入なッて餘り長く煮ない方が宜い、總て肉類殊に鳥肉は餘り長く煮ますると却ッて硬くなッて仕舞ひます。一番養分の有るのは「ブロース」のやうなもの、其次は燒き次に煮るのです。煮ますると汁の中に養分が出ますから、汁も捨てないで召食るやうになすッた方が宜い。ソレからお吸物、是れは前に述べたとは全く反對の効能で、汁の中の實には全く効能は有りませぬ、効能の有る樣に沸して置いて、あとで實を入れて鳥渡煮ると云ふのおら

ば宜いが、それては味が宜くない。それより煮をうまくして實は煎汁にすると云ふやうにした方が經濟的効能が有る、兩方おいしいやうにすると、却つて汁も味なく、實も養ひを爲しませぬ。實の中の養分を汁に出さうと云ふには汁を熱くして置いて實を入れると云ふのは往けない、何故と云ふに、外部に皮をこしらへて中から養分の出ないやうにすると云ふのですから、ソレでは吸物には不適當。吸物をこしらへるときは微温湯或は水から火に掛けて、漸々火を強くして煮る、併し餘り煮ない方が宜い、サウすると肉の中から養分が悉く水の中に出て仕舞ひますから、最早其實は棄てゝも惜しくない、而して味はあとから附るのが宜い、よく沸煮しないうちに、塩醤油を入れると往けませぬ、是れが動物の料理の大体です。併しながら鳥獸魚等で多少取扱ひが違ひますが、先づサウ云ふやうな理合で御座います、成るべくは外部に皮をこしらへて水分の流れ出ない樣に、皮の中で蒸燒にするのが宜い、けれどもいつでもそれでは倦まするから、其變法は汁にし或は煮たのも宜い、而して煮込んだ時分には實も汁も共に食べられるやうに製し、吸物にするには冷水から煮まして、養ひが水の中に出て參るやうにするのが宜い。又魚類を洗うにも余り丁寧に洗はない方が宜い、殊に細かく切ッて水の中に漬けて置くのも宜しくない、鳥渡見た處では量が減りもしませぬが、水に漬けて置くと、養分が溶けて形だけを止むるやうなことになります故に御洗ひになるときは僅かの水で必要だけ洗ッて、余り無益に洗はんやうにする方が宜い。今日は諸先生の御話も窺ッた上であ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

りますから總体の事だけに致して置きまして、此次に又詳しく申述べます。

新潟文會講演

◉赤痢豫防養生法

醫學士 竹中成憲君 講演

抑も傳染病は醫學上其數合計三十有餘ありと雖法律上傳染病と稱するは僅かに八病あるのみ赤痢は其病中の一なりとす而して此八病は皆屆出を要するものにして本年法律第三十六號第二十條に據れば醫師たるもの傳染病患者を診斷し十二時間以内に屆出を爲さゞるときは五圓以上五十圓以下の罰金に處せらる醫師たるもの此罰金は之れを恐れずと雖も此處分を受くるは面目に於て忍びざるなり病家たるもの須らく此情を酌んで醫師の屆出に對し不快の感を生ずべからず又傳染病發生するときは縣令を以て定むる所の外一切自宅に於て治療するを許さず隔離病舍（避病院なり）に入らざるべからず要するに已に一人の爲めに數百千の他人を害するに忍びざるを以て病人自身も此覺悟なかるべからず自宅治療の許可を受け自宅に於て治療するときは治療中は勿論全治に到りたる後尙ほ五日間は交通遮斷を施行せらる其日數永きは五十日に到るべし此間商業は勿論休業し親類友人との往來もならざるなり假ひ隔離病舍に移すとも其移したる日より五日間は同しく交通遮斷を行はさるべからず此の如く法律に規定ある以上は何人たりとも之を動かすべからず實に一町の盛衰に大關係あるなり豈輕視して可ならむや

赤痢豫防養生法

一 赤痢は即ち痢病又は「アカハラ」と俗に稱ふるものにして「コレラ」と比しく恐るべき病なり其原因は小さき「アメーバ」と稱する動物即ち虫の人の口より腹中に入り肛門に近き大腸と稱する所に宿り茲に其勢を逞ふして病毒を釀し人々の体質にも據ると雖も要するに優勝劣敗の結果として此病毒に勝つことの出來さるものは即ち死するなり印度地方には此病多く且つ此病人百人中八十人は死すると云ふ恐れざるへからず日本にては百人中二十人位死するあり

一 本症は度々便意を催し圊に上るも敢て多量の糞便出るにあらず少量の便の外血を交へ後には毫も便の如きものなく只僅に水飴の如きもの排泄するのみ而して其數度は一日數十回より二百回も及ぶことあり裏急後重(リキミ)あるを以て追には脱肛を來すを常とす

一 本症は傳染病には相違なしと雖疱瘡(ホウソウ)痳疹(ハシカ)等の如く人より人に直接に傳染するものにあらず「コレラ」病の如く飲食物に據り口より入るものなれば飲食物に主として注意するときは安全なり故に赤痢病人の上りたる圊に健康人上るとも必傳染すべき者にあらず又仝衾するとも恐るゝに足らず此の如きことを想像して漫に恐怖心を出すは良しからず

一 就中注意を要するものは食料水なり赤痢ある家の水は用ゆべからざるは勿論假令ひ本病なき家の水と雖も一度之れを煮沸し後之れを用ゆべし麥湯は便利なるべし其他總て煮さるものは食せざるを良

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

しとす例之刺身菓實等は良からず漬物の如きも生漬なるものは之れを忌むべし雪水の害あるは明かなり麵類の如きは一度煮ると雖も又水に入れて用ゆるものなる故良しからず本病は素腸の病なれば平生腸胃の弱きものは注意を要す健康なるものたりと雖總て消化惡しきもの及腸に溜るべきものは良しからず消化惡しきものとは、タコ。イカ。スルメ。エビ。貝類。コンニャク。等の類又腸に溜るべきものとは、牛蒡（ゴボウ）蓮根（レンコン）芋（イモ）豆（マメ）等なり

牛乳も亦十分煮沸したる後にあらざれば用ゆべからず然らば如何なるものを用ふべきかと云へば玉子、魚にては鯛の如き上等のもの鳥、牛肉其外葛（葛湯）麩等ありされば食事は必ず自宅に於て己れの監督の下調理したるものを用ひ料理店又は他人の家に於てせざるを良しとす祭日又は祝ひ抔と稱し多人數一家に集り飲食なして後皆同時に本症に罹りたると其例枚擧に暇あらず此る時にても其席に列するのみにして飲食を共にせざりしものは無事なりし流行時には可成芝居其他人の群集する所には立寄らざるを良しとす上等の酒「ブランデー」等少々用ゆるは反て良し下等の葡萄酒、ビールは良しからず

一　蠅（ハイ）は不潔なる動物にして或時は食物の上に座し或時は糞便の上に安ず眞に蠅の爲めに食物に病毒を持ち來ること屢あり其實例乏しからず故に食物には常に蓋を爲し此不潔動物を避くべし

一　本病愈々己れの附近に發生したるときは粥、梅干、玉子、松魚節の類を以て籠城すべし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一　身躰を清潔にすべきは勿論にして腹部には晒木綿を巻き之れを暖温に保つを良しとす漫りに水浴し川又は不潔の海水に入る等は害あり爪も亦鋏み清潔にすべし

一　前述るが如く主として飲水即ち井戸に病毒の存するものと心得べく而して其病毒は此病に罹りしものゝ大便より來るものあれば厠に近き井戸は最も注意せざるべからず又臺所圊厠、風呂場、溝等は十分清潔にして圊厠溝等は消毒法を施すべし

消毒法とは左の如くすべし(內務省令の通りあり)

大便又は他の不潔物に其五分の一に相當する分量の木灰(アク)を加ふべし

但し藁灰石炭灰等は効なし

木灰(アク)の代りに生石灰(キイシバイ、セイセツカイ)を用ゆれば大に良し生石灰なれば大便に其五十分の一の量を加れば足る即ち木灰より効力強きと十倍なり普通石灰を用ゆるときは生石灰の五倍量を用ゆべし其他石炭酸水、昇汞水、格魯兒石灰水等本年內務省第十三號を以て規定したるものあれとも是は病氣の情况に應し醫師に就説明を聽くべし

但し役場學校會社製造工場等多人集合する所には平生此藥品を貯ふべし

一　其外住所は能く掃除して汚水を日日掃ふべく家屋の內外にある塵芥は殘らず集め可成燒き捨るべく假小屋に居るものは床を高くし敷物を厚くし濕氣ぬ様にあし又可成多人數一ッに居らぬを良とす又深夜外出等して濕氣を受けぬ様にすべし

一 病既に發したりと心附ば速に蓐に就きて腹部を暖にし場合に依れば熱き湯にて手拭を絞り之れを腹に當て或は「コンニヤク」を熱くし之れを手拭に包み當るも良し又介子（カラシ）を貼るもよし多は是のみにても上圖の數多少減ずるものなり食物は先づ中止し僅に牛蒡玉子葛湯等にて凌くべし而して用ゆべき藥品は種々あれば落膽することなく安心して己れの好む醫師に任すべし

衛生叢談

●疾病の内因

前號に於て疾病の外部より來るべき原因を記載したれば續て茲に身体の内部にも亦疾病を醸すべき原因の存することを紹介せんとす

寒國に生れたる人は嚴寒の地に其一生を經るも健康なる者に在ッては感冒に侵されず又赤道に近き地に住する人は日射病（大陽の光線の刺擊に因て起る病を云ふ）に罹ると寡なし又大酒家はアルコールを含む飲料に慣るゝと雖とも下戸は粕漬を食ふも微醉するものなり其他傳染病も内因に關係あるものとす即ち生れつきにて傳染病に罹り易き者と罹り易からざるものと其中間のものとあり而して全く罹らざるものを天然免疫性或は免疫質と云ふ是天然免疫質なる人は傳染病流行するも決して之れに侵さるゝことなしと雖も然らざるものは屢々之れに侵さるゝものなり故に人爲的に免疫質となすべき方法を得んとて醫士は研究しつゝあるあり而して天然痘の如き傳染病は今日全く人爲的にて

免疫質となすをうるに至りたり然れとも一度或る方法に依て免疫質になりたりとても人爲的には一定の年限を經れは再ひ舊に復するを以て種痘なとは四五年毎に之れを行ふべきものとす

以上述べたる如く傳染病に罹り易き或は罹り易からざるは其人の持ちて生れたる性にして之れを素因と云ふ此素因には種々ありて例へは肺病、精神病、腦病、血行病、癩病、梅毒等は悉く素因を其子孫に遺傳するものにして內因の一なり

次に体質も內因の一となす体質とは身体中諸機關の組織の工合を云ふ決して外見上の搆造の大小强弱を論ずるにあらず（身の丈け大、骨格强くしても病に罹り易き人あり）假令身の丈けは矮小にして少し位不具あるも身体の皮膚は緊張し皮下に脂肪よく發育し筋肉も太く諸粘膜紅く毛髮の發生良く頸は長短に過ぎす胸廓は身の丈けの半に過ぎ肋骨は外部より見へず上腹部は突出せず下腹部少しく凸出したる人は良き体質を有するものなり斯の如き人は不攝生をせざれば漫りに疾病に侵さるゝとなし之れに反して口唇及び口內粘膜は普通より紅く頰部に紅色を帶び皮膚は蒼白にして彈力薄く頸は細長くして骨格弱く胸廓は扁平に近く肋間の見へ透くへき人は多く肺勞となるべき体質を有するものなり又身の丈け短くにし肥滿し頸短く腹部前方に突出する人は酒を嗜むと否とに關せず多く腦卒中症を起すへき体質あり其他種々の体質によりて諸種の疾病を惹起するものなりとす

男女の性も內因の一なり盖し男女は解剖上に異なるとと其生活狀態の異なる點に於て男子は或る疾病に女子より侵され易く又女子は或る疾患に男

子より多く罹る今之れを解剖上より論ずれば女子に於ては生理上の妊娠あり之は普通病と見做べきものならねども甚だ病に傾き易き狀態なり其他乳房の疾病（屢々目擊するは乳癌なり）月經障害、卵巢膿腫、子宮諸病、生蓐熱、ヒステリー等とす男子に女子に見ざる陰部の諸疾患、アルコールの爲めに起る心臟病或は精神病等あり次に生活の狀態の點より言へば男子は外に在りて勞働すると多ければ負傷などを受け易く煙艸を多く用ひて口唇癌（日本には少なし）を患ひ不攝生のために傳染病に罹り易し女子は家に在りて座すると多ければ痔を起し易く又は子宮に鬱血を醸し易し歐州婦人はコーセットにて胸廓を壓迫し爲めに一時眩暈を起し之れに慣るゝも晩年に至りて肝臟に壓迫を來たし因て膽石（膽囊中に石を生じ痛を起す）を生じたる例あり又支那婦人の足は變形をなし爲めに活潑なる運動を營み難く終に病に罹り易き素因を遺す等あり

年齡も亦內因の二にして小兒期には胃腸病又呼吸器病多く之れが腦に感して斃るゝことあり小兒期とは生後より七年迄を云ふ男女とも壯年になるまでに罹り易き疾病は結核病あり夫れより壯年に至り罹り易きは傳染病及ひ精神病にして老年期に於ては癌腫、腦卒中症最も多數ありとす

終りに內因の一とすべきものは身体の營養狀態なり營養の良否は平常食物の關係する所にして疾病に罹りて急に營養を行ふも決して其効を奏することなし故に健康時の心懸肝要なり營養良しけれは窒扶斯に罹り一時衰ふるも忽ち回復するをうべし之れに反して營養不良なれは其經過不良にして恢

復期遲く不意に合併症を發して全快することが能はさることあり

◎咽頭の棘に就て

食事の時に急ぎ或は半入咀嚼にて魚肉又は鳥肉を嚥下まするど屢々其肉中に小骨片がありまして咽頭の粘膜に刺り大に苦しむことがあります之れも大人なれば又處置もあり自分も辨別力がありますからうんなに囂々しく噪ぎませぬが何がさて三四歳位の小兒ですと痛がり泣き又咽頭も大人のより軟かにて其通路も狹くありますから乍ち腫れ上り仕來にをへぬものであります其外骨片に限らず五厘銅貨、指環、洋服の鈕子、玩弄品鈴、なぞは咽頭の粘膜に箝まりて喉頭や氣管を壓迫しますから呼吸することが困難になりまして終に窒息することがあります斯んな塲合には親御は唯驚くの外はなく近所に醫者がありますれば直ぐに携れて行かるゝには相違ありませぬ折よく醫師が在宅致しますれば詮術ありまするが生憎他出中に當れば仕方なく復た他の醫師を訪問せねばなりませぬ斯く時間を無益に浪費致すは第一其病人に向ツて可憐の極であります間が悪ければ直ちに窒息して仕舞ます依て記者は先達て水戸に滯在致して居ります時丁度そんな塲合に出會まして急の間に行ない見まして良き結果を得ました事がありますから諸君に御披露申します

記者の寓居致して居りましたるは磯濱大貫町の町長の隱宅でありまして其右隣家には船頭の小屋があります是家に生れて今年丁度四年程の男の子がありますが是處等は每日大底魚肉はかりを常食と致して居ります或る一日鯛の頭部の骨にして俗

に錫と申（錫の形に類す）が其兒の咽頭に刺たと申し泣き號ぶ兒を携れて參りましたによッて飯粒の一塊を嚥下ましたが除去ませぬ又舌を引き出し上より壓して覗き見ましたが少しも見へませぬ外科器には種々の道具がありますが未た持合せませず殆んと困却致しましたすると同學生の中にて開業醫の息子がありまして自分の家にて先年斯んな例がありましたる時蒟蒻を半咀嚼にさせて嚥下させまして良結果がありたるとの話を致しましたるによッて半信半疑にて兎に角之れを行ない見ましたれは僅か蒟蒻一本の四分の一ばかりにて骨は除れて胃中に入りたると見へまして痛覺を忘れ元氣よくありました其翌日の朝便通のとき幸にも肛門より出でたるを見ましたが實に好都合でありましたいつも此樣に行くか行かぬかは知れませぬが若しも小兒に限らず大人にても斯んな塲合がありましたなら一度は御試しなさいませ尤も蒟蒻は胃中にて消化致しませぬものでありますから半咀嚼にて嚥下まするど胃より腸を經て肛門より出づる際に骨を壓して來りたるものと思はれますが何しろ妙な試驗を致しました

◎葡蘭垤

夏期より秋期に當り人の能く患ふるは腸胃病を以て最も多となす而して多くの傳染病も亦胃腸を傷なひたる時に之に感染するは既に人の知る所たり故に胃の消化力を補足して之を健ならしむるを要す其方法たるや各人の嗜好と慣習とによりて差異を見ると雖とも少量の葡蘭垤を糖水に和し食前に用ふるも亦胃の消化を助くる一法となす然らば其葡蘭垤とは如何なる成分よりなれる酒類なるかを

次に略陳せんとす
葡蘭垤は多量のアルコール分を含有せる酒類に屬し葡萄酒を蒸餾して製したるものなり赤葡萄酒の千分中より百分乃至百五十分を製取し得べし即ち其百分中には五十乃至五十四分の純アルコールを含む而して白葡萄酒より製したるものは赤葡萄酒より造りたるものに比すれは前者はアルコールの含有量も寡なしとす然れ共其香味に至りては兩者に差を見ず唯葡萄酒の善惡によりて異なるものあり最良の葡蘭酒は佛國に於けるコグナック及ひアルマッナックより出るものにして世界に稱賛せらるゝものあり然るに上等の葡萄酒より之れを製する時は其價非常に騰貴するを以て佛國に於ても通常アルコール分強き下等の酒より蒸餾するもの多しイスパニア、葡萄牙に於ては右の下等の酒の外嫌惡すへき物品即ち葡萄酒の糟粕及葡萄の皮或は壜子の底に殘りたる不潔の品を以て之れを製すると多し故し全世界中に需用する所の量は實に巨額に至ると雖とも純良なる葡萄酒の之が爲めに消費せらるゝとは誠に僅少にして或は全く之れなしといふも敢て過言にあらざるへし又右の下等廉價なる原質を以て製するの外獨逸國に於ては馬鈴薯より製する強き燒酎を佛國に輸出すると多くして佛國に於ては更に之れを再溜清淨ならしめ以て佛國製葡蘭垤の名を付し之れを諸國に輸出するもの多し又英國に於ても種々の製法ありて之れを自國に用ひ又之れを他邦に輸出するものあり
葡蘭垤は始め葡萄酒より蒸餾したるときは無色にして其外觀麥芽より蒸餾したるアルコールに異なるなきか如くなれとも其後榛砂糖を混和するによ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

りて容易く着色するものなり而して其香味は揮發油及ひエーテルに歸するものにして其性分は未た之れを詳明する能はされとも一分は其蒸餾するによりて誘出し一分は蒸餾の作用によりて當し而して又其一分は貯藏の年を經るに隨ひて生するものなり畢竟此二物は葡萄酒の善惡によりて多少の差あり故に葡萄酒の善惡は葡蘭酒坯の品位に關するものなれは歐米の酒商は其味を以て製造の地方を指名するを得ると云ふ故に葡萄酒より蒸餾したる上等なる葡蘭坯の遙かにウイスキー及ひ他の嗜好に適當なる燒酎の上に位する所以のものは專ら此一種の香味を保有するを以てなり然れとも下等の葡蘭坯は決してウイスキー及ひ他の燒酎類の上に位するものにあらす故に上等のものを選み之れを藥用となし決して下等のものを飲むなかれ而して之れを多量に過飲するときは反ッて人身に大害を及ぼすものなれは能く注意せんことを希望す

◉赤痢病の猖獗

近年赤痢は至る處流行せさる地なきに至り其初め九州地方を慘害し進んで四國中國より延て東漸し東京及府近の諸縣に蔓延し殊に東京府下及附近の各縣に於て比較的其患者を出し去月以來其勢ひ益々猖獗を極む此際各自の攝生尤も緊要なり

本年初發よりの全國患者總數は實に四万五千八百二十人にして内死者九千〇七十三人に達せりと云ふ今本月十日中一日の患者各地方よりの報等によれば患者合計八百七十四人にして内死亡者二百〇七人ありと云ふ尚東京府に於ける本月十日届出の赤痢患者は一日に六十七人の患者を出すに至りた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

り益々蔓延の模樣あり

◎赤痢の徵候及豫防

此病に罹る時は食物進まず舌には邪氣を生じ便通定まりなく身体倦怠を來し腹部に痛みを生じ下痢を起し其初めは大便稀薄にして糞塊を交へ下し一日五六回より遂には二十回より六七十回に至り其都度腹痛甚だしく大便は粘液狀となり血液及膿汁を混じ又中に粒々ある塊まりを交ゆるに至るものなり

◎豫防法

一　家屋内は清潔に掃除し空氣の流通を良くすべし

二　水は必ず煮沸して飲用すべし

三　飲食用器具を洗ふにも必ず煮沸したる湯にて流ふべし

四　飲食物には蠅蓋を具へ蠅のたからぬ樣注意すべし

五　未熟の菓實を食すべからず

六　暴飲暴食し或は深夜に及んで飲食すべからず

七　患者ある家へは親戚知友たりとて成るへく近寄らぬ樣にすべし多くは之より感染すること多し

八　若し止を得ず患者の家に至りたる場合には決して飲食すべからず

九　下水は兩三日毎に浚へ汚水を排除すべし

十　病家に通じたる下水は度々石灰又はクロール石灰水の如き消毒藥を撒布すべし

十一　便所には時々消毒藥を灌ぎかくべし

十二　身体は度々沐浴して清潔にすべし

十三　衣服は時々洗濯して汚垢なきものを用ゆべ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し

十四 寢具は時々日光に曝し濕氣なきものを用ゆること

十五 若し万一發病するに至りては醫師の未だ來らざる時は第一の注意として石灰水若は木灰汁を瀉下物に注ぐべし

十六 患者は可成避病舍に移し療養せしむべし

十七 看病人は患者の汚物に汚染したる虞れあるときは直ちに石炭酸水にてよく洗ひ後淨水にて洗ふべし

十八 患者ある場合には來防人を謝絶すべし

十九 消毒藥には生石灰石炭酸水(二十倍)クロール石灰水(一名晒粉)木炭(火鉢の灰)等を用ひて消毒すべし

◉新潟支會記事

同支會八月例會は洪水の爲め休會せしが九月例會は去六日午後六時より長善寺に於て開會出席者百餘名先づ三條病院長醫學士竹中成憲氏には傳染病の豫防及び赤痢に付注意すべき要件を演述せられ夫れより幻燈の催しありて衛生上必要なる件々を一々高橋田代の兩氏にて説明せられ餘興日清戰爭の幻燈ありて近頃珍らしき盛會にして散會せしは十時頃なりしといふ

廣告

◉入會者

◉口羽いま子の紹介に依り

東京麴町區飯田町一丁目八番地船曳幹子方

上原よね子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎根岸かな子の紹介に依り

下谷區茅町二丁目四番地根岸方　清水貞子

日下恒子

◎沖ゑい子の紹介に依り

日本橋區矢の倉櫻井病院内　佐伯とき子

◎事務所へ申込に依り

日本橋區濱町三丁目八番地高木佐吉方　渡邊せき子

本郷區第一醫院　平田よし子

秋葉きね子

杉本もとこ

若林かね子

富田くに子

◎移轉者

牛込區若宮町七番地へ　橋本ちせ子

牛込區早稻田南町十六番地へ　小坂みさ子

京橋區三十間堀三丁目三番地酒井たか方へ　今井幸子

京橋區三十間堀二丁目九番地新出方へ　數まさ子

麹町區富士見町二丁目廿八番地川鍋方へ　粂子きみ子

芝區白金三光町廿五番地へ　時任しづ子

京都市上京新烏丸頭町四拾三番戸へ　眞水さだ子

淺草區福井町一丁目六番地へ　青木すゞ子

茨城縣眞壁郡下妻町字西町五拾九番地へ　秀島ちよ子

岡山縣御野郡石井村字下出石八拾二番邸へ　猪間のゑ子

本所區元町廿番地へ　津田たま子

◎會告

○本月も最早僅かに相成候に付九月例會を休み來月中旬頃例會を兼懇親會相開き候間右御了承奉願候

大日本婦人衛生會

私立大日本婦人衛生會規則

第一條　凡本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持するの方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ隨て社會全般の幸福を増進するにあり

第二條　本會は私立大日本婦人衛生會と稱し之を東京に置く

第三條　本會の會員たらんと欲する者は身分の尊卑を問はず何人にても入會することを得

第四條　會員たらんと欲する者は族籍住所姓名を記し本會事務所へ申込ある可し
　但事務所は下谷區練塀町四十三番地に置く

第五條　本會々員を分て修身會員特別會員通常會員の三類とし共に會費金を納むる者とす
　但終身會員は一時に金拾圓以上を納め特別會員は一年金二圓四拾錢以上を納め通常會員は同金壹圓二拾錢を納むる者とす尤も會員中書生及其他事故ある者は唯雜誌料として同六拾錢を納めしむ

第六條　男子にして本會の主義を賛成する者は之を賛成員とす尤も會費は本會員に同し
　但本會に功勞ある者は役員の協議を以て終身賛成會員(無會費)とすると有る可し

第七條　本會に推戴員を置き其中より總裁一名を奉す推戴員は皐族の御息所等に之を申請するものとす

第八條　本會は左の役員を置く
　會長一名　副會長一名　幹事七名　評議員二十名　書記若干名

第九條　會長副會長及幹事評議員は會員の投票を以て之を撰擧し書記は幹事の推撰により會長之を命ず
　但書記は都合により會員外の婦人又は男子に托することあるべし

第十條　會長は本會を總理し副會長は會長を補佐し又は其代理をなし幹事は會長の命を受けて會務を處理し評議員は重要なる會務を評議し書記は役員の命に從て諸記錄及雜務を掌る
　但幹事の分課を設けて第一會計　第二編輯出版　第三庶務とす

第十一條　會長の見込を以て右役員外に會員中より臨時に指名委員を置くことあるべし

第十二條　會長副會長及幹事評議員の任期は一年とす尤も再撰するも妨げなし

第十三條　會長副會長及幹事評議員は無給料とし書記は相當の報酬を給す

第十四條　本會の集會は七月八月を除くの外毎月一回として通常第一土曜日午後一時より之を開く

第十五條　毎會學識經驗ある者を聘し講義演説を囑し本會々員の演説と共に之を筆記して本會雜誌に掲載し毎月各一册つゝ無代價にて之を會員に頒付するものとす
　但し演説の間に談話を交ゆる事あるべし

第十六條　本會員は家族の婦女子又は知己の婦人を會々場に誘致して傍聽せしむることを得

第十七條　本會講義演説の際男子の傍聽を禁ず
　但會員に縁故ある男子は此限にあらず

第十八條　本會の所有金は本會の名義を以て三井銀行に預くるものとす
　但些少の金額は日々の費用支出の爲め事

明治二十一年二月二十八日內務省許可

第十九條　務所に引出置を得
　會計の收支は總て會計課幹事の撿印を要す

第二十條　會員又は會員外より金圓若くは書籍物品等を寄贈あるときは本會より謝狀を送り且寄贈の品目及其人の姓名を本會雜誌に載せ報告するものとす

第廿一條　會費は郵便小爲換にて東京下谷郵便局へ向け振出しある可し
　但不得止場合には郵便劵を代用するも妨けなし尤も一割增とす

第廿二條　入會員には會員證を附與すべきに付郵便にて申込の者は郵便劵二錢を添ふ可し

第廿三條　每年三月九月の總會に於て會計の收支庶務の概略幷に會員の增減等を報告す可し且規則改正の案あれば之を議定するものとす尤も議定は總て多數決とし可否半數なるときは會長之を決す

第廿四條　三月の總會に於て役員の撰擧をなすものとす

第廿五條　規則の範圍內に於て役員の評議を以て會細則を設くることを得

第廿六條　各地方にて發起者十人以上ある者は支會を設くることを得

第廿七條　本會の集會場は時々報知する者とす

第廿八條　會費金は受領證を付與すべし尤も小爲替又は郵便劵にて納むる者は右受領證遞送費として郵劵二錢を添ふべし然らざれば受領證は送付せざるものとす

廣く醫家又は病家の依賴に應し看護婦を派出せしむ

東京日本橋區濱町二丁目四番地

日本橋看護婦會

齒科診察

午前八時より
午後五時まで

東京日本橋區本町二丁目十二番地

齒科醫　高橋コウ

明治三十年九月十八日印刷
明治三十年九月二十日發行

發行所　東京下谷區練塀町四十三番地　大日本私立婦人衛生會
編輯兼發行者　東京牛込區矢來町三番地　田中德三郎
印刷者　同　神田區小柳町十三番地　小高良造
印刷所　同　神田旅籠町貳丁目拾一番地　廣業館

明治廿六年四月四日遞信省認可每月二十日發行

（定價金拾錢）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN